

2018年度（平成30年度）事業計画

基本方針：くまもと障害者労働センターの目指すもの

- （1）障害のあるなしだけでなく様々な困難を抱える人も含め、誰もが共に働くことができる場として社会的事業所の可能性を拓いていきます。
- （2）収益性のある事業を通し、労働権の確保や一定の所得保障を進めていきます。
- （3）働くことを通し差別がなくなっていく共生社会をめざしていきます。

運営の目標

2018年度の目標として、私たちが取り組みたいことを列挙すると下記のようになります。

- （1）労働センターの理念とみんなの思いを形にした新たな建物の建設

熊本地震の影響もあり隣接のアパートが取り壊しとなり、大家さんより敷地利用についての提案があります。

あせらずゆっくりと、不安がみられたら立ち止まり、みんなで話し合いながらセンターの理念と目標の共有を図り、将来の事業展開について検討を重ねています。B型・生活介護の定員増、グループホームの新設、新事業の展開など含め、2019年度に事業をスタートするという目標に向けて、みんなの力を一つにして全力で進めていきます。

- （2）『卒後の暮らし』全国集会の成功

近年労働センターで全国集会を主催する機会が増え、2018年度も全国集会を引き受け、11月に開催する予定となりました。全国集会を開催することで、全国の多くの人と出会いつながることが、センターとしても個人としても成長へとつながっています。

しかし、センター内より実行委員会に入って運営にかかわる人は限られてきました。今年度は実行委員会のメンバーとしてセンターからもたくさんの方が参加する体制をつくり、大会成功だけでなく、大会運営を通し人材育成へとつなげていきます。

【販売部】

（売上目標：900万円　2017年度売上見込み：800万円）

2017年度は毎日1ルート販売に行ける体制を整えました。一昨年の地震以降、販売部の体制も変化し、販売先の減少等の課題もあります。販売部として、日常的に訪問販売でお客様と関わることを活かし、お客様の要望を各部署と連携してかたちにしていきます。

- ・販売部の体制の整備に取り組みます。
- ・訪問販売の販売先開拓・新たな販売方法を確立します。

【カフェ部：おれんじカフェ、まいペーす】

（売上目標：630万円　2017年度見込み：580万円）

2017年度はまいペーす、おれんじカフェが独自にカフェ運営を模索しながら取り組んできました。その結果、少しずつではありますが顧客も増え、売り上げ向上につながって

ます。しかし、それぞれでカフェ運営をしていくには困難な状況も浮き彫りとなってきました。今後はそれぞれの良さを活かし、相互に協力していく体制を整備していきます。

- ・顧客が満足するおもてなしの技術を習得します。
- ・人材育成研修を実施します。(二店舗間での職場交換実習など)

●おれんじカフェ (売上目標：300万円 2017年度見込み：280万円)

2016年度9月より開始した「配食サービス」は、メンバー全員が営業マンであり、調理員であるという自覚を持ち、試行錯誤を繰り返すことで少しずつ軌道に乗ってきました。

いままで培ってきたつながりが顧客獲得となり、安定した弁当の提供へとつながっています。また、店頭販売や地道な広報活動により、地域の個人客にも広がっています。今後も今までのカフェの取り組みを継承しつつ、センターの活動を発信する場所となるよう、イートインカフェといった弁当屋としての可能性をひろげていきます。

2018年度は「地域に愛される弁当屋」を目標に掲げて取り組んでいきます。

- ・平日の弁当提供数の安定と弁当の店頭販売など、試行していきます。
- ・季節のイベントの実施やお菓子の開発等を行い、店頭販売の売上向上を目指します。
- ・自己研鑽、弁当業務に関わる研修を実施します。

●まいぺーす (売上目標：330万円 2017年度売上見込み：300万円)

喫茶室の営業も3年目を迎える2018年度は、働くスタッフがそれぞれに目標をもち、自信と誇りをもって働ける環境づくりに力を入れていきます。

また、より多くの集客と顧客満足のために取り組んでいきます。

- ・おれんじカフェとの協力体制を整えます。
- ・はあもにいととの連携に力を入れ、コラボ企画を実施します。
- ・雑貨販売を毎月継続して行います。

【事務・IT部】 (売上目標：550万円 2017年度見込み：660万円)

2017年度は、近隣の事業所への自ら足を運ぶ営業を目標に取り組みました。事務用品、印刷物の受注増加という成果があり、来年度も引き続き自ら足を運ぶ営業を継続していきます。また、情報発信としても定期的な機関誌発行、ブログ更新を行うことができました。今後の目標として、労働センターの理念や障害者差別の問題など、情報発信にメッセージ性を含めた内容としていきます。

- ・近隣の事業所へ自ら足を運ぶ営業をしていきます。
- ・定期的な学習会(年4回、メンバーが講師)や話し合いの場を確保します。
- ・人員体制と仕事内容の整理を行います。
- ・情報発信による新たななかま作りに取り組みます。

【交流・イベント事業】 (売上目標：200万円 2017年度見込み：180万円)

センターの理念である共生共働の社会づくりを進める上で重要な事業として、学校等の訪問を通して、障害者差別をはじめあらゆる差別に対し理解を広げていく活動を継続していきます。

- ・講演ができる人材の育成を進め、交流・イベントの活動数を増やします。
- ・卒後を考える全国交流会（11月開催予定）での各団体・個人との連携を深めます。

【製造部】 (ギフト売上目標：140万円 2017年度見込み：140万円)

2017年度も引き続き全国の事業所より注文を頂き、つながりを感じられる1年となりました。また、ギフトに今まで使用していなかった外部商品(夏のジュース)を使用するなど新たな取り組みで売り上げを伸ばすことができました。2018年度もギフトの売上維持、卸販売の継続、販売商品の安定供給と新商品開発を行います。製造部1人1人が自分の力を発揮できるようにしていきます。

- ・ギフト商品のバリエーションを増やします。
- ・ギフト商品、プチギフトのカタログなど、営業しやすい資料を作ります。
- ・製造部の仕事の内容、環境を整備し、増築へ向けた準備を行います。

【おれんじ村Inc.】 (収益目標：400万円 2017年度見込み：320万円)

現在は特定相談支援事業で50名、障害児支援事業で39名の相談を受けています。

2018年度も、相談支援事業を通して地域の課題を把握し、誰もが当たり前で生活できるような地域づくりに取り組んでいきます。

【共生ホーム元気】 (収益目標：92万円 2017年度見込み：92万円)

現在、当事業所のメンバー2名が自立生活の準備のために生活しています。

今後も自立生活に向けた応援と、今後の事業展開としてグループホームとしての制度利用についても検討を進めていきます。